第３次芝山町
まち・ひと・しごと創生総合戦略

［1］ 計画の前提

1. 計画策定の目的 116
2. 計画の期間 116
3. デジタル田園都市国家構想総合戦略 117
4. 第3期千葉県地方創生総合戦略 118

［2］ 第3次芝山町まち・ひと・しごと創生総合戦略

1. 第3次総合戦略の基本方針 119
2. 各施策と数値目標・重要業績評価指標（KPI） 120
基本目標Ⅰ「安定した雇用を創出し、安心して働ける環境を整備する」 120
基本目標Ⅱ「新しいひとの流れをつくる」 122
基本目標Ⅲ「若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる」 124
基本目標Ⅳ「時代に合った地域をつくり、安心なくらしを守る」 125

[1] 計画の前提

1. 計画策定の目的

まち・ひと・しごと創生総合戦略は、日本の急速な少子化・高齢化の進展に対応し、人口の減少に歯止めをかけること、また、東京圏への人口の一極集中を是正し、それぞれの地域で住みよい環境を確保し将来にわたって活力ある日本社会を維持していくことを目指した、国の「まち・ひと・しごと創生法」施行及び「まち・ひと・しごと創生総合戦略」策定を受け、全国の自治体で独自の取組をとりまとめた計画です。

芝山町では、平成28(2016)年度から5年間を計画期間とする「第1次まち・ひと・しごと創生総合戦略」、令和2(2020)年度から5年間を計画期間とする「第2次まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、地方創生の取組を進めてきました。

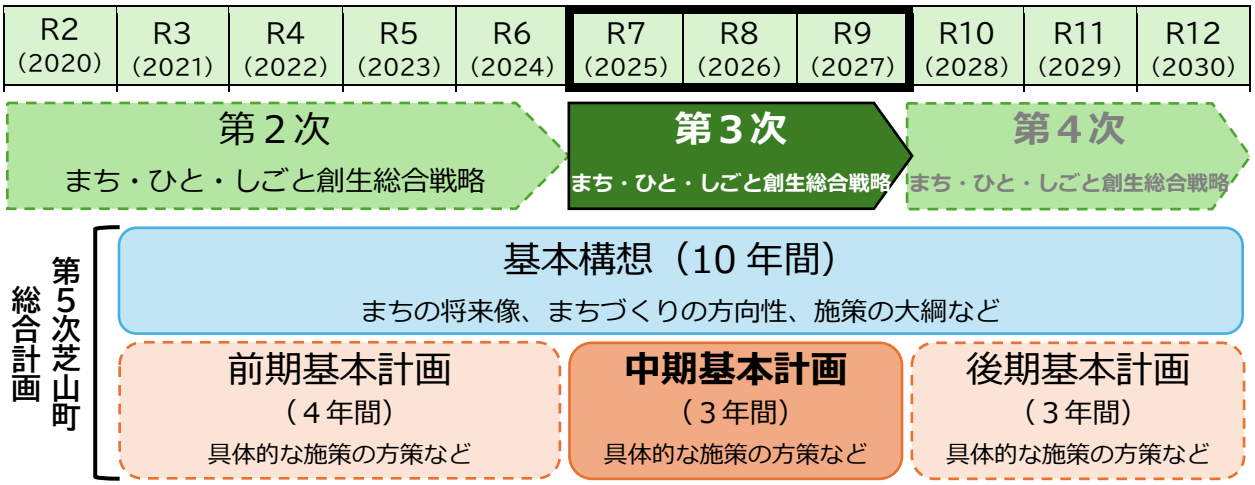
その後、これまでの地方創生の取組をデジタルの力によって加速させ、「全国どこでも誰もが便利に快適に暮らせる社会」を目指す「デジタル田園都市国家構想」の実現に向け、令和3(2021)年12月に「デジタル田園都市国家構想総合戦略」が策定されました。

第2次まち・ひと・しごと創生総合戦略が令和6(2024)年度で終了することから、国や県の方針を踏まえ、デジタル技術を活用しながら地方創生の取組を深化するため、第3次となる「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定します。

なお、第5次芝山町総合計画の中期基本計画と次期戦略は密接に関連することから、同計画との整合を図り、一体的に策定するものとします。

2. 計画の期間

第3次まち・ひと・しごと創生総合戦略は、令和7年度から令和9年度までの3年間を計画期間とします。



3. デジタル田園都市国家構想総合戦略

デジタル田園都市国家構想総合戦略は、デジタル田園都市国家構想を実現するために、各府省庁の施策を充実・強化し、施策ごとに2023年度から2027年度までの5か年のKPI（重要業績評価指標）とロードマップ（工程表）を位置づけたものです。地方は、それぞれの地域が抱える社会課題などを踏まえて、地域の個性や魅力を生かす地域ビジョンを掲げた「地方版総合戦略」の策定に努めます。国は、政府一丸となって、地域ビジョンの実現に向けた地方の取組を総合的・効果的に支援していくこととしています。

令和6年6月10日に開催されたデジタル田園都市国家構想実現会議（第16回）では、「地方創生10年の取組と今後の推進方向等について」のなかで、以下のような課題や今後の取組方向が示されています。

【地方創生10年】 残された課題、新たな課題と今後求められる取組方向

(1)東京圏への過度な一極集中への対応

➡地方移住、企業の地方移転、地方大学・高校の魅力向上に加え、女性・若者にとって魅力的な地域づくりや、その他、男女間・地域間の賃金格差など、東京圏への過度な一極集中をもたらし得る諸要因を踏まえた検討、中枢中核都市等におけるゲートウェイ機能の向上、防災・減災、国土強靭化の取組の強化、分散型国づくり等との連携など

(2)少子化への対応

➡結婚や子どもを持ちたい希望をかなえるための政策を、特に未婚者を多く抱える大都市も含め、スピード感をもって実行、社会全体で子ども・子育て世帯を応援していく機運を高めていくための社会の意識醸成など

(3)地域の生産年齢人口の減少への対応

➡仕事と子育ての両立が可能な働き方の確立、高齢者や障害者も安心して働くことができる雇用環境の整備、多様性のある共生社会の実現に向けた検討など

(4)地域資源を生かし、付加価値を高める産業・事業の創出

➡地域資源の掘り起こし等に必要な生産者や中小企業に対するサポート、産業活性化と拠点施設等の一体的な整備による地域の稼ぐ力の向上、地域経済の内発的な活性化、海外製造業を含めた国内投資の促進に向けた関連インフラを含めた総合的な支援など

(5)地域における日常生活の持続可能性の低下などへの対応

➡デジタルの活用や官民連携による日常生活に必要なインフラ・サービス（交通支援、買物支援、オンライン診療等）の強化、デジタル行財政改革との連携など

(6)都市部と地方との連携機会の拡大

➡農山漁村等での体験活動、地方における定住人口や交流人口の増加に向けた取組の推進、デジタルも活用した関係人口の増加に向けた取組の推進など

(7)大規模災害被害からの創造的復興に向けた貢献

➡能登半島の被災地におけるデジタルライフラインの整備など

(8)地方創生の取組に悩みを抱える自治体へのきめ細やかな支援

➡オンラインも活用した自治体への人材支援、小規模自治体など伴走支援を必要とする自治体に対し、地方支分部局を含め、関係府省庁が連携したサポートの推進など

(9)地方創生の取組を加速化・深化するデジタル活用の更なる拡大

➡自治体のデジタル実装の質的向上、国と地方の実装の役割分担（作り込みから使いこなし）、デジタル実装の優良事例の掘り起こしとサービス／システムのカタログ化による発注コスト低減・横展開、環境や循環経済の効果可視化、障害者等に優しいコミュニケーション支援など

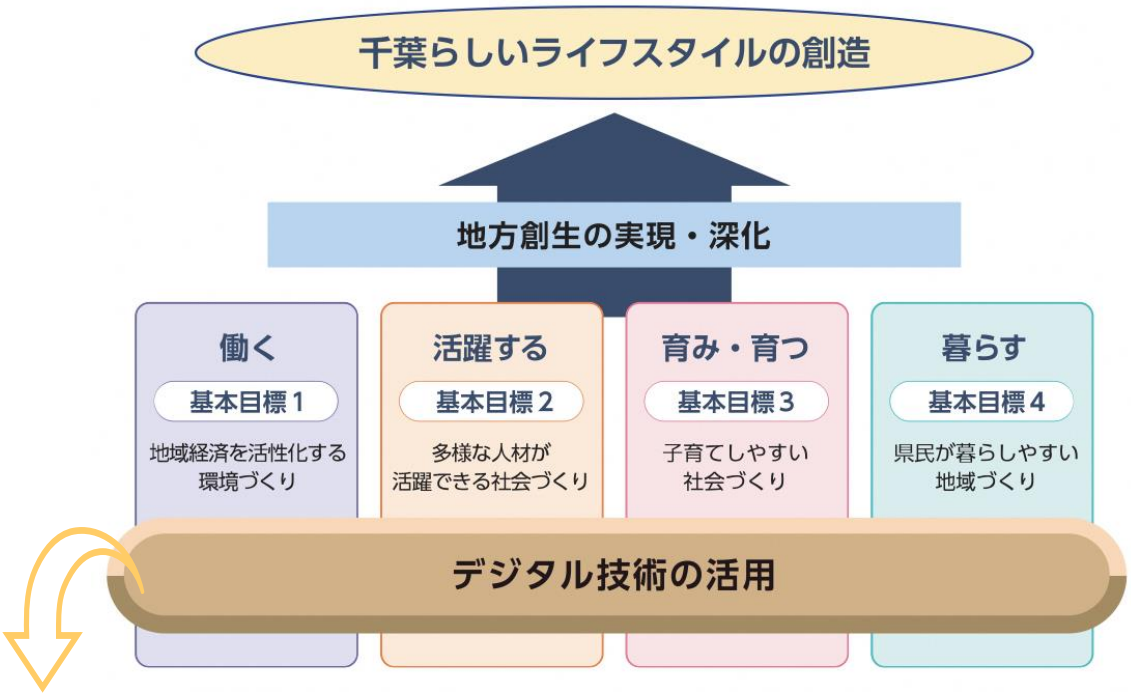
(10)地域・社会課題の解決に向けた規制・制度改革

➡国家戦略特区の取組の推進と成果の全国展開、地理的に離れた自治体が連携して共通の課題に取り組む「連携“絆”特区」の推進など

4. 第3期千葉県地方創生総合戦略

千葉県では、これまでの県の地方創生における取組の成果などを踏まえ、デジタルの力などを活用して地方創生を実現・深化していくため、令和９年度までの施策の基本的方向等を定める「第３期千葉県地方創生総合戦略～デジタル田園都市国家構想の実現に向けて～」を策定しました。

計画の概略は以下の通りです。



地方創生におけるデジタルの活用

1 デジタルで「働く」を次のステージへ

労働人口が減少する中、デジタル技術によって、地域産業の生産性の向上を図るとともに、その先進性によって新たなイノベーションやサービスの創出につなげるよう取り組むことで、「働く」場や質を次のステージへと押し上げる可能性を持つ。

●中小企業の DX の推進
●スマート農林水産業の加速化
●デジタルを活用した観光振興

2 デジタルは「活躍する」を広げる

新型コロナウイルスの感染拡大を契機に、デジタル技術を活用したテレワークなどの新しい働き方に取り組む企業等が増えているほか、メタバースなどの仮想空間でも人々の様々な活動が行われるなど、ネットワークを通じて、リアルでの生活の本拠地から離れた地域にも活躍の場を広げることができる。

●テレワーク・ワーケーション等の推進

3 デジタルが「育み・育つ」を変える

デジタル技術は、教育などの子どもを育む分野でも積極的に活用が図られており、子どもたちの可能性を引き出す個別最適な学びと協働的な学びを一体的に充実させることで、教育の質の向上を図ることができる。

●デジタル技術を活用した教育の質の向上

4 デジタルで「暮らす」を安全で楽しく

デジタル技術を活用することで、社会基盤整備や医療・介護分野などの「暮らす」の安全がさらに向上するとともに、文化芸術などの新たな表現が創出される「楽しみ」等の実現が図られる。

●デジタルを活用した安全な地域づくりの推進
●医療・福祉・介護分野でのデジタル化の推進
●インフラ DX
●まちづくり分野での DX 推進
●県行政の DX の加速化
●市町村 DX の推進に向けた連携・支援

［2］第3次芝山町まち･ひと･しごと創生総合戦略

1. 第3次総合戦略の基本方針

第３次総合戦略では、第２次総合戦略の将来像、基本目標・基本方針を引き続き継承することとし、第５次芝山町総合計画中期基本計画の各事業の展開と整合を図ることにより実効性のある計画として取り組みます。

■町の目指すべき将来像

「生涯活躍」を知感、体感できるまちづくり

■基本目標・基本方針

基本目標Ⅰ「安定した雇用を創出し、安心して働ける環境を整備する」

基本方針１「働ける場所の創生」

基本方針２「ひとの育成」

基本目標Ⅱ「新しいひとの流れをつくる」

基本方針３「ひとの流れづくり」

基本目標Ⅲ「若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる」

基本方針４「新たな世代への橋渡し」

基本目標Ⅳ「時代に合った地域をつくり、安心なくらしを守る」

基本方針５「幸せ感向上に向けたまちづくり」

2. 各施策と数値目標・重要業績評価指標（KPI）

基本目標Ⅰ「安定した雇用を創出し、安心して働ける環境を整備する」

日本全体が人口減少の局面に差し掛かる中、芝山町では成田空港の機能強化や圏央道の整備などの国家プロジェクトにより新たに働き暮らす場所が生み出されようとしています。このため、若者やＵＩＪターンの受け皿となる地域雇用の場の創出や農業・産業振興、働きたい意欲のある人が働きやすい環境づくりなどの「働ける場所の創生」に取り組みます。あわせて、新規のビジネスにチャレンジする人材育成支援や女性が活躍する社会づくりによる「ひとの育成」に取り組みます。

数値目標

項　目	現　状	目標　＜2027 年度＞
人口に占める就業者の割合 （就業者数÷総人口（国勢調査））	50.2% 2020 年国勢調査	55%

●基本方針 1「働ける場所の創生」　※主な取組事業と中期基本計画での掲載箇所を示します

① 若者・UIJターン雇用対策の推進

・新規産業創出事業 ----------【322】(2)土地の有効活用による働く場所の確保

・企業誘致促進事業 ----------【321】(1)企業の誘致

② 就農支援、農業競争力強化

・農業振興支援事業 ----------【311】(1)農業者への支援

・地産地消推進事業 ----------【311】(2)地元農産物の更なる魅力向上

・「風和里しばやま」の運営支援----------【331】(1)特産物を生かした観光の推進

③ すべてのひとが活躍できる社会の実現

・シルバー人材センター支援事業 ----------【422】(1)社会参加活動の促進

・障がい者（児）の社会参加活動促進事業----【432】(1)障がい者（児）の生活支援と就労支援の推進

・地域福祉・地域支え合い活動推進事業 -----【431】(1)地域福祉・地域支え合い活動の推進

・健康づくりの推進 ----------【411】(2)健康づくり活動の支援

KPI の設定

KPI（重要業績評価指数）	現状	目標＜2027 年度＞
昼間人口率（国勢調査）	161%	150%
認定農業者数	103 人	110 人
農業生産法人数	9 法人	10 法人
集落営農組織数	1 組織	2 組織
シルバー人材センター登録数	25 人	28 人

●基本方針 2「ひとの育成」

※主な取組事業と中期基本計画での掲載箇所を示します

① 新ビジネス創出支援

・創業支援等事業計画 ---------- 【321】(2)新ビジネス創業支援

・小規模事業者経営改善事業 ---------- 【321】(3)商工会との連携と中小企業支援

② 女性の活躍推進

・地域子ども・子育て支援事業 ---------- 【212】(1)子育て支援施設の充実

・男女共同参画支援事業 ---------- 【451】(1)男女共同参画社会づくりの促進

KPI の設定

KPI(重要業績評価指数)	現状	目標＜2027 年度＞
保育所待機児童数(単年度)	0 人	0 人
女性対象講座開催回数(年間)	0 回	2 回

基本目標Ⅱ「新しいひとの流れをつくる」

芝山町に住みたい人を増やすために、芝山町のよさや特色を発信し広く知ってもらうこと、まずは来てみて体験してもらうことが重要です。このため、地域資源を生かした観光やスポーツによる交流促進、町へのアクセス向上などにより関係人口を増やす取組を進めます。さらに、芝山町に住みたいという人に対し、空き家の利活用や住宅支援等による移住定住促進を図ります。

数値目標

項 目	現 状	目標 ＜2027 年度＞
町 HP 年間アクセス数	80 万 PV 2023 年	100 万 PV
風和里しばやま年間レジ通過者	52 万人 2024 年見込み	58 万人

●基本方針 3「ひとの流れづくり」

※主な取組事業と中期基本計画での掲載箇所を示します

① 地域資源を活用した観光振興・スポーツ振興

- ・「スカイパークしばやま」整備事業の促進 ---【331】(2)集客交流の仕掛けづくり
- ・芝山公園再整備事業 ----------【113】(1)公園の整備
- ・高谷川沿い道路整備事業 ----------【341】(2)幹線道路の整備促進
- ・公衆無線 LAN 整備事業 ----------【522】(1)行政サービスの向上
- ・芝山町 PR 事業----------【332】(2)各種団体等との協働による観光イベントの実施
- ・スポーツ団体の育成支援事業 ----------【251】(1)スポーツ・レクリエーション活動の推進
- ・スカイパークしばやまの回遊性向上事業 ---【131】(1)交通結節点としての機能向上
- ・農泊推進事業----------【332】(1)大学等と連携した交流促進策の構築

② 多様な情報発信力強化

- ・HP 更新事業 ----------【511】(1)情報共有化の推進

③ 町への移住・定住の促進

- ・移住相談支援事業 ----------【221】(1)住まいや新生活への支援
- ・住宅取得支援事業 ----------【221】(1)住まいや新生活への支援

④ 大学等と連携した交流促進

- ・大学等と連携した交流促進事業 ----------【332】(1)大学等と連携した交流促進策の構築
- ・農泊推進事業----------【332】(1)大学等と連携した交流促進策の構築
- ・文化財の保存と活用 ----------【262】(2)歴史文化資源の保護・活用

⑤ 公共施設、公的不動産の利活用

- ・公共施設適正化事業 ----------【521】(3)公共施設の適正な管理と有効活用

⑥ 空き家等対策の推進

- ・空家等対策事業----------【112】(2)空き家・空き地対策の推進
- ・農地中間管理機構活用事業 ----------【312】(1)農地の有効活用

⑦ 交通アクセス向上

- ・バスターミナル整備事業 ----------【131】(1)交通結節点としての機能向上
- ・芝山ふれあいバス運行事業 ----------【131】(2)公共交通網の充実

・芝山あいあいタクシー運行事業 ---------- 【131】(3)デマンド交通の推進

・芝山町西側地域新規交通網創出事業 ------ 【131】(2)公共交通網の充実

・スカイパークしばやまの回遊性向上事業 --- 【131】(1)交通結節点としての機能向上

KPI の設定

KPI(重要業績評価指数)	現状	目標＜2027 年度＞
観光入込客数	51 万人	85 万人
観光体験農園整備箇所数	0 箇所	1 箇所
住民情報メール登録者数	1,174 人	1,200 人
移住相談者数(単年度)	27 人	50 人
低利用公共施設の利活用件数(累計)	3 件	3 件
町実態調査における空家等の件数	184 件	184 件
空き家・空き地バンクの登録件数	12 件	18 件
空き家・空き地バンクの成約件数	2 件	5 件
特定空家等の件数	12 件	9 件
空港シャトルバス年間利用者数	7. 2万人	10.5 万人
芝山鉄道年間利用者数	51.9 万人	60 万人
バスターミナル整備進捗率	10%	50%

基本目標Ⅲ「若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる」

町民意識調査結果によれば、少子化対策として「安定して暮らせる住居の提供、住宅に対する補助支援」が最も多いものの、子育て世代からは「結婚や出産、育児に関する資金貸与や補助支援」や「子どもの預け場所や居場所の充実支援」なども求められています。こうしたことから、結婚、妊娠・出産、育児に至る各段階の負担・悩み・不安に対し切れ目ない支援に取り組むとともに、次世代につながるよう芝山町としての特色を生かした教育環境の整備を推進します。

数値目標

項　目	現　状	目標　＜2027 年度＞
合計特殊出生率の増加	0.73 2022 年	1.50
乳幼児（0～5 歳）率の増加	3.2% 2024 年	4.5%

●基本方針 4「新たな世代への橋渡し」

※主な取組事業と中期基本計画での掲載箇所を示します

① 結婚・出産・子育てへの切れ目のない支援

・保育所統合事業----------【212】(2)保育の充実
・保育 DX の推進 ----------【212】(2)保育の充実
・子ども家庭総合支援拠点事業 ----------【212】(1)子育て支援施設の充実
・地域子ども・子育て支援事業 ----------【212】(1)子育て支援施設の充実
・子育て世代包括支援事業 ----------【212】(1)子育て支援施設の充実
・母子保健事業の充実 ----------【411】(1)母と子の健康づくり

② 特色ある学校教育の推進

・児童生徒の体験活動支援事業 ----------【231】(1)教育内容の充実
・成田空港と空港のしごとを知る講座事業 --【322】(1)町内での就業や雇用の支援
・生涯学習講座「若竹塾」開催事業 ----------【241】(3)青少年活動の促進と家庭の教育力の向上

KPI の設定

KPI（重要業績評価指数）	現状	目標＜2027 年度＞
保育所待機児童数（単年度）	0 人	0 人
中学生自然体験学習参加者数（累計）	379 人	480 人
生涯学習講座「若竹塾」参加者数	108人	230 人

基本目標Ⅳ「時代に合った地域をつくり、安心なくらしを守る」

近年、大規模な地震や台風などの自然災害による脅威が高まっており、町として住民の命を守るためのインフラ整備を進めるとともに、町民からの主体的な自助・共助の取組などにより、重層的な安全対策を進めていく必要があります。そのほか、ふるさと芝山に対する誇りを高める施策や持続可能な行財政運営など、町民が安心してこの町で暮らし続けられる、幸せを感じてもらえるまちづくりを推進します。

数値目標

項　目	現　状	目標　＜2027 年度＞
転入者率の増加	4.6% 2024 年	5.0%
大学等と連携した交流促進の取組件数（累計）	4件 2024 年までの累計	5 件

●基本方針 5「幸せ感向上に向けたまちづくり」 ※主な取組事業と中期基本計画での掲載箇所を示します

① 防災の強化と住民主体の地域防災組織の育成

・防災行政無線維持管理及び更新事業------【151】(2)防災情報の提供

・自主防災組織設置事業 ----------【151】(3)地域防災力の向上

・公衆無線 LAN 整備事業----------【522】(1)行政サービスの向上

② 地域防犯活動の推進

・防犯カメラ設置補助事業----------【161】(3)地域防犯活動の推進

③ ふるさとに対する誇りを高める施策の推進

・ふるさと納税事業----------【521】(2)財政健全化の確保

・芝山町 PR 事業----------【332】(2)各種団体等との協働による観光イベントの実施

・インバウンド誘客事業----------【332】(2)各種団体等との協働による観光イベントの実施

④ 行政サービスの利便性向上

・キャッシュレス決済の推進----------【522】(1)行政サービスの向上

・書かない窓口の推進 ----------【522】(1)行政サービスの向上

・公共施設適正化事業 ----------【521】(3)公共施設の適正な管理と有効活用

⑤ 成田空港や圏央道を活用したまちづくり

・市街地再編事業----------【111】(1)都市的土地利用の推進

KPI の設定

KPI(重要業績評価指数)	現状	目標＜2027 年度＞
地区主体自主防災組織数(累計)	3 組織	5 組織
ふるさと応援寄附件数(単年度)	899 件	2, 600 件
企業版ふるさと納税実施件数	0 件	2 件

資　料　編

[1] 策定体制

1. 芝山町総合計画審議会　名簿

◎…会長、○…副会長　敬称略

区分	氏名	職名
第１号委員 町議会議員	坂井　慶子	総務常任委員長
	○　實川　嘉一	まちづくり常任委員長
第2号委員 公共団体の役職員	鈴木　一成	教育委員
	伊藤　正明	農業委員会長
	大槻　和男	社会福祉協議会
	松本　重之	消防団長
	金髙　盛二	商工会長
	平田　冬樹	観光協会長
	鈴木　康夫	民生委員児童委員協議会長
	松本　康浩	丸朝園芸農業協同組合
	今関　美恵子	子ども会育成協議会長
	新井　卓	芝山工業団地連絡協議会長
第3号委員 学識経験者	◎　鈴木　雅之	千葉大学　教授

2. 芝山町総合戦略推進会議　名簿

◎…会長　敬称略

番号	氏名	所属等
1	萩原　敏和	芝山町子ども会育成協議会　顧問
2	金髙　盛二	芝山町商工会長
3	◎　坂井　慶子	芝山町議会議員
4	渡辺　浩司	山武郡市農業協同組合　芝山支所長
5	松本　康浩	丸朝園芸農業協同組合　代表理事組合長
6	高梨　弘子	成田国際空港株式会社　地域共生部長
7	島田　信之	千葉信用金庫　芝山支店長
8	石井　敏男	千葉銀行　多古支店長
9	渡辺　翔太	千葉日報社　成田支局長
10	小川　欣也	一般社団法人 みどりと空のプロジェクト　理事長
11	村越　将司	株式会社広域高速ネット二九六企画制作本部 企画部　部長
12	星　久光	リコージャパン株式会社パブリックサービス本部 自治体事業部　首都圏・中部営業部　部長
13	串田　徹	芝山町地域おこし協力隊

3. 審議の経過

(1)芝山町総合計画審議会

会議	日程	主な内容
第1回審議会	令和6年(2024年) 12月9日(月) 午前9時30分～11時	＜報告＞ (1)策定スケジュールについて (2)町民アンケート結果について ＜議題＞ (1)第5次芝山町総合計画中期基本計画骨子案について (2)第3次芝山町まち・ひと・しごと創生総合戦略について
第2回審議会	令和7年(2025年) 2月 28 日(金) 午前9時30分～11時	(1)パブリックコメントの結果について＜報告＞ (2)第5次芝山町総合計画中期基本計画(案)について (3)第3次芝山町まち・ひと・しごと創生総合戦略(案)について

(2)芝山町総合戦略推進会議

会議	日程	主な内容
第1回推進会議	令和6年(2024年) 12月20日(金) 午前9時30分～11時	(1)第3次総合戦略の策定について (2)第2次総合戦略__施策取組成果と今後の可能性について (3)第3次総合戦略__重要業績評価指標(KPI)達成状況について (4)芝山町将来人口の検討 (5)中期基本計画骨子案について
第2回推進会議	令和7年(2025年) 2月 21 日(金) 午後1時 15 分～3時	(1)第3次総合戦略(案)について (2)委員提案について (3)意見交換

［2］ 前期基本計画・施策の指標達成状況

前期基本計画では６つの柱に沿った施策を展開しており、それぞれの「めざす姿」に向けた施策の指標を掲げています。

前期基本計画の達成状況をみると、６７の指標のうち、達成は２２、未達成は４５となっており、町民意識調査結果による数値を中心に未達成が多くなっています。

中期基本計画においても、引き続き「めざす姿」の実現に向けて必要な施策や事業、一部指標を見直しつつ、指標の目標を達成できるよう取組を推進します。

施策No	指標	基準値（前期策定時）	目標	現況値（2024年）	達成状況
111	住宅、商業、農地、工場などが計画的に開発・配置されている（乱開発されていない）と思う町民の割合	20.53%	↗（増加）	17.60%	未達成
112	町に今後も住み続けたいと回答した町民の割合	68.04%	↗（増加）	59.16%	未達成
113	公園の量・施設に満足している町民の割合	17.83%	↗（増加）	14.39%	未達成
121	生活道路が整備されていると感じる町民の割合	27.92%	↗（増加）	20.20%	未達成
131	公共交通が充実していると感じる町民の割合	10.59%	↗（増加）	6.34%	未達成
131	空港シャトルバス利用者数	83,613人（2019年度）	↗（増加）	71,936人（2023年度）	未達成
131	芝山ふれあいバス利用者数	15,314人（2019年度）	↗（増加）	14,552人（2023年度）	未達成
131	芝山あいあいタクシー利用者数	8,105人（2019年度）	↗（増加）	7,655人（2023年度）	未達成
141	町は緑が豊かだと思う町民の割合	90.41%	↗（増加）	86.47%	未達成
141	河川や水路の水は、きれいだと感じる町民の割合	48.79%	↗（増加）	40.73%	未達成
142	弾力的運用に伴うカーフュー内運航の発生数	43件（2019年度）	↘（減少）	12件（2023年度）	達成
143	安全な水が供給されていると感じる町民の割合	45.55%	↗（増加）	42.89%	未達成
144	水洗化率	94.06%（2019年度）	↗（増加）	91.57%（2023年度）	未達成
144	公共下水道使用料の収納率	98.20%（2019年度）	↗（増加）	93.48%（2023年度）	未達成
144	農業集落排水処理施設使用料の収納率	93.65%（2019年度）	↗（増加）	91.78%（2023年度）	未達成
145	町民一人1日当たりのごみ排出量	1,406g（2019年度）	↘（減少）	1,449g（2023年度）	未達成
145	リサイクルや分別など、ごみを適正に排出していると思う人の割合	72.20%	↗（増加）	72.75%	達成
151	日頃から防災に関する備えをしていると回答した町民の割合	50.63%	↗（増加）	41.30%	未達成
152	消防・救急体制について、満足していると回答した町民の割合	51.34%	↗（増加）	44.77%	未達成
161	年間交通事故発生件数（千葉県警察犯罪統計より）	42件（2019年度）	↘（減少）	32件（2023年度）	達成

施策No	指標	基準値（前期策定時）	目標	現況値（2024年）	達成状況
161	刑法犯認知件数（千葉県警察犯罪統計より）	56件（2019年度）	↘（減少）	73件（2023年度）	未達成
211	子育て世代の経済的な負担軽減が図られていると感じる町民の割合	27.20%	↗（増加）	21.68%	未達成
212	子育てしやすい環境が整っていると感じる町民の割合	18.12%	↗（増加）	16.08%	未達成
221	中学生以下の子どもがいる世帯数	406世帯（2020年4月1日時点）	↗（増加）	368世帯	未達成
231	学校に行くことが楽しいと回答した小学生の割合	90.30%（2020年度）	↗（増加）	94.70%	達成
231	学校に行くことが楽しいと回答した中学生の割合	84.60%（2020年度）	↗（増加）	82.00%	未達成
232	校舎内外はきれいに整備されていると感じる保護者の割合（小学校）	93.20%（2020年度）	↗（増加）	86.25%	未達成
232	学校の施設・整備は、学習環境の面で満足していると回答した保護者の割合（中学校）	91.70%（2020年度）	↗（増加）	86.00%	未達成
241	生涯学習活動に取り組んでいる町民の割合	24.96%	↗（増加）	27.54%	達成
242	生涯学習環境が整っていると感じる町民の割合	14.52%	↗（増加）	14.39%	未達成
251	週に1回以上、スポーツをしていると回答した町民の割合	18.50%	↗（増加）	21.67%	達成
261	文化センター利用者数	9,291人（2019年度）	↗（増加）	7,031人	未達成
261	気軽に学習・文化活動が行える場があると感じる町民の割合	20.78%	↗（増加）	20.52%	未達成
262	歴史的な文化財などが適切に保存、活用されていると思う町民の割合	42.37%	↗（増加）	42.62%	達成
311	農業所得のある町民の数	546人（2019年5月31日現在）	→（維持）	434人（2024年1月1日現在）	未達成
312	耕作放棄地面積	1,417,750㎡（2019年度）	↘（減少）	700,000㎡（2023年度）	達成
321	町内で買い物することが多いと回答した町民の割合	28.76%	↗（増加）	29.70%	達成
321	町内の法人数	500法人（2019年7月1日現在）	↗（増加）	603件	達成
322	有効求人倍率（成田所管内）	0.88倍（2020年平均）	↗（増加）	1.09倍（2024年6月）	達成
322	町内や周辺に働く場所が十分あると回答した町民の割合	23.96%	↗（増加）	21.99%	未達成
331	町内に魅力ある観光スポットがあると回答した町民の割合	15.59%	↗（増加）	16.14%	達成
332	観光入込客数	442,575人（2019年度）	↗（増加）	502,145人（2024年1月1日現在）	達成
332	町ホームページ「観光情報」へのアクセス数	4,431件（2019年度）	↗（増加）	40, 625件	達成
341	道路網が整備されていると感じる町民の割合	27.92%	↗（増加）	20.20%	未達成
411	特定健康診査での有所見率（収縮期血圧）	42.30%（2018年度）	↘（減少）	27.90%	達成
411	健康だと思う町民の割合	58.63%	↗（増加）	55.27%	未達成

施策No	指標	基準値（前期策定時）	目標	現況値（2024年）	達成状況
411	毎年、健康診断を受けていると回答した町民の割合	74.73%	↗（増加）	74.86%	達成
412	感染症定期予防接種率（麻しん風しん第1期）	95.50%（2019年度）	→（維持）	76.66%	未達成
413	かかりつけの病院・医院があると回答した町民の割合	76.03%	↗（増加）	75.44%	未達成
421	高齢者に占める要支援・要介護認定者の割合	15.03%（2019年度）	→（維持）	16.67%	未達成
421	介護予防、介護サービスが利用しやすいと感じる町民の割合	27.78%	↗（増加）	24.68%	未達成
422	高齢者がいきいきとしていると思う町民の割合	40.83%	↗（増加）	35.19%	未達成
431	福祉ボランティアを行ったことがある町民の割合	20.69%	↗（増加）	20.07%	未達成
432	高齢者や障害のある人が外出しやすいまちだと思う町民の割合	8.85%	↗（増加）	6.79%	未達成
441	生活保護自立更生率（死亡失踪除く）	12.2%（2019年度）	↗（増加）	20.68%	達成
442	町民一人当たりの医療費	357,292円（2019年度）	↘（減少）	369.065円	未達成
442	国民健康保険税の収納率	94.21%（2019年度）	↗（増加）	94.53%	達成
442	後期高齢者医療保険料の収納率	99.48%（2019年度）	↗（増加）	99.77%	達成
442	介護保険料の収納率	98.68%（2019年度）	↗（増加）	99.09%	達成
442	介護サービスが充実していると感じる町民の割合	20.37%	↗（増加）	18.36%	未達成
451	社会全体で男女が平等になっていると思う町民の割合	23.34%	↗（増加）	21.14%	未達成
452	国際化が図られていると感じる町民の割合	16.69%	↗（増加）	16.32%	未達成
511	行政情報が十分に得られていると感じる町民の割合	30.54%	↗（増加）	26.43%	未達成
512	地域活動やグループ活動に参加したことがある町民の割合	44.06%	↗（増加）	43.58%	未達成
521	町の行政が適切に運営されていると思う町民の割合	32.30%	↗（増加）	33.45%	達成
521	町税の収納率	99.05%（2019年度）	↗（増加）	99.59%	達成
522	職員の対応やサービスに好感を持っている町民の割合	53.28%	↗（増加）	48.37%	未達成